

パネリスト プロフィール

サボール・アーメッド (パキスタン)

パキスタン国際赤十字／ユースメンバー



過去にパキスタンの3つの州で災害マネジメントと性暴力に関して取り組んだ経験があり、現在は人権、女性教育などに焦点をおいた地域に根差した組織を運営しています。海外通信員に応募したのは、パキスタンでは未だ女性の地位が低く、ジェンダー問題は、今後力を入れて取り組まなければならない課題だと感じたからです。パキスタン女性をエンパワーすること、彼女たちに平等な機会を与えること、そしてジェンダーを主流化することを願っています。

マリスナ・ユリアンティ (インドネシア)

Mercu Buana 大学／講師



ジェンダーと子どもの問題を中心に研究しています。過去5年間、地域社会、政府、援助機関などが関係する多様なプロジェクトにかかわり、ジェンダーと子どもの問題の研究を行ってきました。今後は、執筆と研究を通じて、抑圧やジェンダーに基づく差別がない世界の創出に貢献していきたいと考えています。このような活動が、女性の声を大きくし、その声を取り上げていける強力なツールとなれると信じています。

スワプナ・マジュムダール (インド)

フリージャーナリスト



デリーに拠点を置いて活動するフリーのジャーナリストです。開発問題や社会に変革をもたらす存在としての女性の役割などに関し、研究を踏まえた記事を主に執筆しています。中でも、インドの開発政策とそれが人びと（特に女性）に与える影響に注目しています。ヘルスケア、HIV/AIDS、栄養、暮らし、公衆衛生、教育、環境、ジェンダーなどについて、共感する姿勢と職業意識をもって執筆してきました。

アメリア・ロー (香港)

法律事務所／インターン



香港女性協会の青年部と国際部の委員を務めるとともに、香港女性法律家協会の学生会員を勤めており、デートDV防止大使プログラムに関わっていました。ユナイテッド・ワールド・カレッジの卒業生として、これまで、中国、アメリカ、イギリスで学んだことがあり、多くの才能ある女性と出会うことができました。海外通信員レポートをとおして、女性のエンパワーメントに貢献していきたいと思います。